

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 在宅重度障がい児者等実態調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 電話番号：058-272-1111(内3282)

障がい児者医療推進係 E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,171 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,171	0	0	0	0	0	0	0	5,171
決定額	5,171	0	0	0	0	0	0	0	5,171

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

医療技術の発展等により、超低出生体重児等の新生児の死亡率が低下する一方で、人工呼吸器装着等医療的ケアを必要とする重度の障がい児が増加し、その多くが在宅で生活を送っている。

こうした重度障がい児は、人工呼吸器管理や頻回な痰の吸引などを必要とし、在宅では、母親をはじめとするその家族が常にその介護を担っている。

平成31年度に実施した在宅重症心身障がい児者等実態調査から4年が経過しており、県内に在住する在宅の重度障がい児者等（医療的ケア児を含む）の最新の生活実態や支援ニーズを把握し、今後の支援策の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施する。

(2) 事業内容

・在宅重度障がい児者等（医療的ケア児を含む）実態調査

【調査項目】

- ① ご本人について
- ② 主たる介護者について
- ③ 介護するうえで負担と感じていること
- ④ 頼りにしている相談先・相談相手
- ⑤ 日頃の不安・不満を感じていること
- ⑥ 医療サービスの利用状況等
- ⑦ 福祉サービスの利用状況等
- ⑧ 重度障がい児者等入所施設について
- ⑨ 施設入所を検討するうえで重視すること
- ⑩ 新たな施設整備をする場合の立地場所について 等

(3) 県負担・補助率の考え方
県単独事業として実施する。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,171	実態調査事業
合計	5,171	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

重症心身障がい児・医療的ケア児の状況を把握するための調査を実施している。
(東京都、千葉県、愛知県 等)

(2) 後年度の財政負担

5年に1度の周期的な調査

(3) 事業主体及びその妥当性

重度障がい児者にかかる専門的医療知識を有し、かつ常時介護にあたる家族のケアを含めた在宅医療の日常を把握する「重症心身障がい在宅支援センターみらい」の運営をしている岐阜県看護協会が実施主体となることには妥当性がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内に在住する在宅の重度障がい児者等（医療的ケア児を含む）の生活実態や支援ニーズを把握し、今後の支援施策等の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

・在宅の重度障がい児者等（医療的ケア児を含む）の生活実態や支援ニーズについての調査事業であり、指標の設定は困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	平成31年度に実施した「在宅重症心身障がい児者等実態調査」から4年が経過しており、最新の生活実態や支援ニーズを把握し、今後の支援策の充実に向けた基礎資料とするため必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 最新の生活実態や支援ニーズを把握し、今後の支援策の充実につなげる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 調査結果を基に、今後の支援策の充実につなげる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】